



▲緊張、緊張でカチカチ（鏡石中学校）

期待に胸膨らませ

4月6日（木）町内の小、中学校で入学式が行われました。

晴れの制服、大きなランドセル。新一年生の表情は自信に満ちあふれ、そのまなざしは真っ直ぐ前を見据えています。

復興、そしてその先の未来へ。次代を担う子どもたちが今、新たな一歩を踏み出しました。



▲大きな声で ハイ！（第二小学校）



いっぱいの風船に囲まれて（第一小学校）

かがみし 議会だより

No.164
平成29年5月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒999-0407 福島県岩手郡鏡石町
不時沼345
電話0248(62)2110
印刷 (南) 永山印刷

町民の声 「ふれあいいいききサロン」 地域住民の「居場所」と「要場所」づくり 久来石区 相楽 榮子



(さがら えいこ) 相楽 榮子 さん

鏡石町の皆様、「誰もが安心して暮らしていけるようなまちづくり」をめざしましょう。「地域福祉は福祉教育ではじまり、福祉教育で終わる。」と先人たちは語り継いできました。最初の福祉教育は、「啓発や広報」であり、後半の福祉教育とは、地域福祉は地域福祉を推進する一人ひとりの主体形成のことを言っています。町民の一人ひとりがそうした意識を高めていくことで、地域社会の福祉観を変えていくことができると言われていきます。鏡石町では、現在6行政区で「ふれあいいいききサロン」を実施していま



サロン「てんさくせんたー」（鏡石区）

準備、片付けは互いに助け合い協力し、今ではすっかり地域に根付き、毎回、ゲーム、カラオケ、おしゃべり、学びの場であったりと計画的に行い、「お互い様」と感謝しあえるような、豊かな人間関係となつていようです。私、ここで提言させていただきます。0歳から百歳までの誰もが気軽に交流できる場に「いいききサロン」を各行政区に於いて開設できますよう推進いたします。立ち上げに当たっては、町社協に申請し助成が受けられます。先ずは無理のない範囲内で実施すれば継続可能かと思えます。久来石区民もサロンに取り組みましよう。高齢者にとつては、種々困難が生ずることと思いますが、実施しながらクリアしていきましょう。どうしても無理な点については、ご負担になると思いますが、



産業厚生常任委員会視察 児童館

前号の町民の声で子どもの遊び・交流の場「屋内施設」の設置のご意見が寄せられたため、産業厚生常任委員会で、3月9日（木）所管事務調査で議題として取り上げ、児童館を現地調査しました。これからも、町民の声にこたえる「開かれた議会」を目指します。



町民の皆様も、以前にも増して議会傍聴においていただき、忌憚のない意見を賜りますよう、議会一同お待ち申し上げます。

発行責任者 渡辺 定己
議長 小林 政次
副議長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 洋
委員 長田 守弘

今年度は、鏡石町第5次総合計画の後期計画の初年度であり、町制施行55周年の記念すべき年でもあります。これら重要な時期にあたり、執行、議会の力量が問われる年でもあります。二元性代表者としての議会の一員として、執行機関の行財政運営等が、適法、適正、公平、効率的、民主的になされていくかどうかを住民の立場に立って監視していきたいと思えます。

編集後記

「町民の声」 にこたえて